

報告日 令和5年12月1日
報告回次 2日目

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	境港市			代表者名	市長 伊達 憲太郎
担当者部署	総務部			連絡先電話番号	0859-47-1115
担当者役職	係長	担当者氏名	木村 哲治	連絡先E-mail	
住所	684-8501 鳥取県境港市上道町3000				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森本 浩之
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようによかったですか等詳細に）	DXとは何かを利用者目線、職員目線で分かりやすく、事例を交えて講演していただいた。自治体DXの背景として、人口減少化における自治体運営の見直しが迫られる2040年問題をお話しいただき、職員がDXを自分ごとととらえ、身近に感じてもらえるきっかけになったと思います。
アドバイザーへの要望事項	特にありません。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和5年11月29日	講演(実地)	有	令和5年10月13日	960
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和5年11月27日	講演（実地）	10時00分	16時30分	120
				活動時間（分）	270
派遣場所	会場名	境港商工会議所		最寄駅	馬場崎町駅
	所在地	鳥取県境港市上道町3002		最寄駅からの交通手段	徒歩

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載可 <https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	151 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	DXを推進し、市民の利便性向上と職員の業務効率化を図るためにには、職員の意識改革や人材育成が大きな課題となっている。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	DXの重要性を認識し、DX推進の機運を高める。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	全職員を対象に2日間で計4回（1回あたり90分、初日は3回）の講演会を実施。デジタル化社会のメリット・デメリット、自治体DXの背景、行政サービスDXのポイントなど事例を交えて、わかりやすく講演していただいた。システムを導入することがDXの目的ではないこと、自治体DXの推進には利用者目線によるサービスデザイン思考での業務改革の必要性、組織内の機運醸成が重要であると説明していただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	DXは自分には関係ないと思っている職員に、DXを自分ごとととらえ、身近に感じてもらえるきっかけになった。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 職員の意識改革とDX推進への機運醸成ができた。	④人材育成のカリキュラムやツールを策定できた
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	別添のとおり
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿	全庁的なDX推進	

なお「その他」を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

